

令和6年度「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰 地産地消部門で「一般社団法人みのり」が大賞を受賞

令和6年度「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰地産地消部門で「一般社団法人みのり」が大賞を受賞され、2月12日、山田市長に報告しました。

この表彰は、「食材王国みやぎ」の重点テーマである「地産地消の推進」や「ブランドの確立」をさらに進めるため、先導的、模範的な活動を実践されている方々の功績をたたえるもの。今回は地産地消部門2事例、ブランド化部門1事例がエントリーされ、2事例が表彰を受けました。

みのりは、イチゴやイチジクを使ったジャム、売り物になりにくい規格外のリンゴを使った焼き肉のたれなどを製造・販売しており、地域の原料にこだわって活動を行っていることなどが評価されました。

志村^{しむらりゆうき}代表理事は「今回、このように評価し

ていただいたことを誇りに思います。今後も宮城県の良い食材を使ったメニューや加工品を作り、さらにステップアップしていきたいです」と話してくれました。



▲表彰の盾と商品を手にし山田市長と記念撮影をする（左から）佐藤^{さとうなおと}直人シェフ、志村代表理事

Grow Park News

グロウパークだより 《Vol.2》

私たち「(株)しろいしグロウパーク」は、白石市から委託を受けて「(仮称)道の駅しろいし整備事業」を行う事業者です。今後、設計・建設から維持管理・運営までを行っていきます。ここでは、事業の整備状況を連載していきます。

☎都市創造課スマートインターチェンジ・企業立地推進室 ☎26-8884

図上防災検討会を開催しました

～「(仮称)道の駅しろいし整備事業」図上防災検討会を開催しました～

「(仮称)道の駅しろいし整備事業」では、道の駅と共に防災公園が整備される予定です。そこで、施設の基本設計を実施している現段階で図上防災検討会を開催しました。この検討会は、市や事業者と共に消防や自衛隊などの防災関係者からの視点で、災害時の施設運用の想定と検証を行い、それを基本設計に反映させることを目的としています。

■運営上の留意点などを検討

検討会では防災・減災の専門団体の(一社)減災ラボの鈴木^{すずきひかり}光

代表理事の進行により、現在検討中の道の駅と防災公園の配置図や平面図を参加者で囲みながら、3つの災害シナリオ（災害対策本部、避難場所、地域防災拠点）、3つの段階（発災～3日目、応急期～復旧期、復興期）、3つの機能（避難・物資・活動）に区分し検討を行いました。

具体的な実施方法は、避難・物資・活動の具体的な内容を記した「機能カード」を用いて災害時の活用方法や動線、配慮事項などについて参加者各位が意見を出し、図面に書き込むこと

で、計画・設計や運営上の留意点などを確認・共有しました。

ここで得られた内容を踏まえ、将来的には市全域のBCP（業務継続計画）へ本エリアの役割などを反映することが想定されます。



▲参加者同士で設計や運営上の留意点などを確認